

式 辞

今日で、たくさんの行事を控えていた2学期が終わります。5月に新型コロナウイルス感染症への対応が改まり、学校活動も徐々にコロナ禍以前の対応に戻りつつあることに、私も安堵しています。

さて、今年度、県下の高校全てで実施されている、ソーシャルチャレンジ for High school 事業の一つ、「地域の課題プロジェクト」に関連して、少しお話をします。このプロジェクトは、地域の課題とその解決策についての学習と、SDGsへの取組や地域社会の課題解決に向けた活動を実施する取組です。本校では、理科の藤江先生と写真・新聞部の生徒を中心に、多くの有志の生徒の協力をのもと、紙資源のアップサイクル（新たな価値を与えた再利用）の研究と、地域の魅力を発信する観光事業への発展的活用の研究が進められています。その一環として、先日は、全校生徒が愛媛大学の先生の講義を受講しました。

このプロジェクトの目的は、愛媛で暮らすことや働くことの意義を再発見することでもあります。地域の未来について語るとき、若い皆さんには大きな期待が向けられます。本校は多くの生徒が地元就職しており、今年度の3年生の8割に近い生徒が県内で就職を決めました。労働の中核的な担い手として経済に活力を生み出し、税金を納めることで社会保障を支える世代を生産年齢人口と言いますが、本校は地域の生産年齢人口を支える重要な役割を果たしているのです。30年後には、3割近くの人口減が見込まれる西条市にとって、本校への期待は非常に大きいことを改めてお伝えしたいと思います。

明日から冬休みです。3年生の皆さんの多くにとっては学生時代最後の冬休みでもあるでしょう。3年生はもちろん1・2年生も含めて、年末年始の行事や、家族や親族との関わりの中で、愛媛で暮らすことの幸せを実感する、楽しい冬休みを過ごしてください。

以上、令和5年度第2学期終業式の式辞といたします。

令和5年12月20日

愛媛県立東予高等学校長 渡邊 琴子